



澤田 道孝 議員
(佐和の会)

「元気な家族農園」借地料は高額

相応の価値を持つ土地

ふれあいの森東側にある「元気な家族農園」の農地借地料が高額すぎる。

3,200㎡の畑に対し年額30万円の借地料は1,000㎡当たり約10万円となっている。

同様の農園を運営するJAの農作業受託部会阿久比支部は借地料の基準単価は1,000㎡当たり7千円としている。

その差額は約28万円になる。

なぜこの様な高額借地料になったか。農地地主への利益供与になるのではないか。

問 利用区画状況。

答 全80区画の内、現在51人53区画を貸出している。

土地借上料が世間相場とかけ離れているが。

答 ふれあいの森に隣接し、当事業に必要で最もふさわしい土地を選定し、借り受けている。

当借地料は、㎡当たり約92円で、本町が借地している高根湿地が同88円、板山グラウンドが同203円であるので、これらと比較しても過大な金額ではないと考えている。

問 今後の運用計画は。

答 地域農業の理解、家族のふれあい機会の場として継続していき、ふれあいの森との一体利用ができるよう整備を行う。



新庁舎・多目的ホール完成記念行事

山車祝い込み・餅つき・餅投げ・コンサート

半田市は新築総工費が65億円で完成式典費用は133万円、阿久比町は総工費47億円で式典費用が800万円。これは税金の無駄遣いである。

今後30年にわたり28億円の借金の返済をしていくことになる。

賛否両論ある餅投げ・餅つきに予算290万円は税金の無駄遣いでやめるべきである。

完成祝賀のために予定定員数3千人に対して4万個の餅投げをする必要はない。

また餅投げは危険である。

問 完成記念式典（ホール・食堂棟竣工式）は。

答 建設事業完了後、平成29年3月30日の午前。内容は、ホール棟のテープカット後、ホール内で式典。終了後、出席者の内覧を予定。

一般の方の内覧会は、午後から実施する予定。ホール内、緞帳などを自由にご覧いただき、ホールの様々な利用形態も紹介する計画をしている。

問 4月8日開催の完成記念行事「山車祝い込み」。

答 町指定文化財である5台の山車を集結。「からくり」・「三番叟」等の披露で新庁舎・多目的ホールの完成を祝う。

予算は、235万2千円である。

問 「餅つき」と「餅投げ」。

答 町内農家が町内で生産したもち米を使用する。各大字・自治会の代表者や来賓に、餅をついていただき、来場者に振舞う予定。

餅投げに使用する餅は、阿久比菓子組合で作製していただき、縁側モールから芝生広場に投げる予定。

別途配布などを含め、行政協力委員会で検討する。

問 「多目的ホール」のこけら落とし。

答 阿久比高校卒業生で、ジャズ歌手のケイコ・リーさんを招きコンサートを開く。

予算は、195万5千円である。